



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位



令和6年9月11日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
清流の国ぎふ文化祭推進課	全国障害者芸術・文化祭事業推進係	中原 吉博	内線 3172 直通 058-272-1976 FAX 058-278-2660

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024＞ 『文化芸術共創プログラム』 「総括フォーラム」の参加者を募集します

文化芸術の「共創」を生み出す力を通じて、多様な人々がまじりあい、地域の紡ぎ手となる人々が育ち、活躍することを目指す「文化芸術共創プログラム」では、多彩な芸術分野に関わるワークショップを県内各地で展開しています。

そして、11月3日には、これら取組みの記録と成果を発表する「総括フォーラム」を開催することとし、その参加者（ワークショップシアター参加者、リレートーク聴講者）を募集します。

記

1 総括フォーラムの開催日時等

日 時：11月3日（日・祝） 12：00～19：30

場 所：岐阜県庁舎 1階 ミナモホール（ワークショップシアター、リレートーク）
ホワイエ（共創マルシェ ほか）
20階 清流ロビー（ナイトパフォーマンス ほか）

2 参加者を募集するプログラム（ともに参加無料）

（1）ワークショップシアター

時 間：12：00～15：00

定 員：20名（先着順） ※ワークショップ参加

講 師：藤村 港平氏（舞踊家）

内 容：県内各地で開催したワークショップから生まれた襷たすきや屏風、楽器等の作品に触れ、どなたでも自由に遊びながらダンスを作っていきます。

その他：観覧は申込み不要

（2）リレートーク

時 間：16：00～18：30

定 員：150名（先着順）

内 容：各地域において様々なアプローチでアートや文化、福祉、オーガニックなものづくりやまちづくりに取り組む方々（紡ぎ手）が県内から集い、リレー形式で次々に襷をつなぎ、入れ替わりながらウェルビーイングな未来について語り合います。

リレーター：土屋 明之氏（岐阜県障がい者芸術文化支援センター相談役/造形家）

古田 菜穂子氏（岐阜県観光国際戦略アドバイザー/兵庫県立大大学院特任教授）

登壇者：ワークショップ講師や県内各地域で活躍する紡ぎ手（主な登壇者はチラシ参照）

3 申込方法

専用申込フォームからお申し込みください。

FAX(岐阜県庁等で配布するチラシの申込欄に記入)又は電子メールでもお申込みできます。

※申込期限：10月25日(金) 17時

専用申込フォーム



4 問合せ・申込先

「清流の国ぎふ」文化祭2024文化芸術共創プログラム事務局 [日本イベント企画株式会社内]

〒503-0006 大垣市加賀野4-1-19

TEL：0584-71-6134

FAX：0584-71-6130

E-mail：kyousougifu@ne-planning.com

※土曜日、日曜日、祝日にお問い合わせいただいた内容は翌平日以降に回答します。

お電話での対応は平日9時～17時となります。

◆文化芸術共創プログラムの概要◆

文化芸術の「共創」を生み出す力を活用して社会や個人のさまざまな課題を解決することを目指し、文化芸術活動を通じて多様な人々がまじりあい、地域の紡ぎ手となるためのプログラム。

※「共創」とは、さまざまな立場の人たちと対話しながら、

新しい価値観を「共」に「創」り上げていくこと。

※紡ぎ手とは、各地域において様々なアプローチでアートや文化、福祉、オーガニックなものづくりやまちづくりに取り組む方々

特設ウェブサイト



◆「藤村港平氏」について◆

舞踊家。東京・横浜を拠点に、フリーのダンサーとして、国内外を問わず多くの演出家や振付家の作品に出演。東京新聞全国舞踊コンクールで一位を受賞するなど、幅広く活躍。

文化芸術共創プログラムには、身体表現ワークショップのスペシャルファシリテーターなどとして幅広く関わっていただいています。

◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024 (両大会をあわせた名称)
- 3 キャッチフレーズ とともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 4 基本方針 ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
②次世代を見据えた文化芸術の創造
③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
④国民文化の大交流の実現
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会期 2024(令和6)年10月14日(月・祝)～11月24日(日) 42日間